



Science Walker
Spring 2006

女の子が喜ぶ 空間づくり

目に見えない無数の孔がカギ

肉眼ではただのプレートにしか見えない恒星原板。直径5 cmのフィルムの中に、星となる1万個以上の微細な孔が、正確な大きさと正確な位置にあげられている。開発者の大平氏はこの超精密孔加工技術を独自に研究。一般的に人間の肉眼で見ることができるといわれる数千個の星数を越えた、約1万もの星を投影することが可能に。



自宅で満天の星空を鑑賞できる「ホームスター」。画像提供・取材協力/セガトイズ

天井に1万個の星が輝く! プライベートプラネタリウム

**自宅がロマンチック空間に
早変わり!**

満天の星空を眺めながら、彼女とふたりでリラックス。そんなロマンチックな時間を楽しめるのが、いま人気の家庭用プラネタリウム「ホームスター」。約1万個の星と、リアルな星空が自宅で簡単に再現できるホームスターの注目点は、家庭用としては世界で初めて採用した光学式という技術。

いままでの家庭用プラネタリウムは、球状の遮光体の表面に星に相当する小さな孔（ピンホール）をあげ、その孔を通して投影するピンホール式が主流だった。だが、ピンホール式ではシャープな像を投影するのが難しいうえに、数百個の星しか表示できなかった。それに比べ、光学式は星に相当する無数の細かな孔をあけた恒星原板に光を通し、投影レンズによって、星を拡大投影する技術。星の数、シャープな画質、精細度などが圧倒的に優れているのが特徴だ。これは、日本科学未来館で毎日上映され、大人気の「メガスターII コスモス」の技術が生かされたもの。これは、プラネタリウムクリエイターの「大平貴之さん」によって制作され、「世界で最も先進的なプラネタリウム投影機」としてギネスに認定されたプラネタリウムで、メガスターが映し出す星空は、実際の星よりもキレイと評判だ。

進化するプラネタリウム。外でデートするよりも、たまには彼女とふたりで本格的な星空を楽しみながらムード満点の時間を過ごしてみるのもいいかも。